

新富町 議会だより

12月定例会

- 令和2年 年頭のごあいさつ
- 12月定例会、委員会報告
- 議案審議結果
- 一般質問(10人が登壇)
- 特集「スマートインターチェンジ」
- 町民インタビュー (Vol. 2)

106号

2019年12月



新春のお慶びを申し上げます

年頭のあいさつ

議長 永友繁喜



新年明けましておめでとう
ございます。

町民の皆様におかれまして
は、輝かしい希望に満ちた新
年を迎えられたことと心よ
りお慶び申し上げます。

新富町議会を代表して、謹
んでご挨拶申し上げます。

日頃より議会へのご理解と
温かいご支援・ご協力を賜り、
厚く御礼申し上げます。

昨年は、日本各地で台風や豪雨による自然災害が発生致しまし
た。幸い本町では甚大な被害の発生はありませんでした。しかし
災害対策や支援体制の整備強化の更なる必要性和対応の大切さ
を改めて実感し、本町議会も国土強靱化対策の推進を求める意
見書を国に提出致しました。

一方、昨年、新富町は町制施行60周年を迎え、記念式典など
の関連行事が盛大に開催されました。また、明るいニュースとし
て、テグバジャール宮崎のホームスタジアムが、いよいよ着工さ
れます。さらに、スマートインターチェンジ設置に向けての準備
会が設立され、設置に向けて大きく前進いたしました。

さて、町議会も昨年の統一地方選により女性議員2名を含む5
名の新たな議員が誕生しました。その新人議員も積極的に一般
質問を行っており、執行部の考えを聞き出し、また意見や提案を
行い、皆様の声を届ける機会となりました。議会に新しい風を吹



総務産業常任委員会



文教厚生常任委員会

本年もどうぞよろしくお願いいたします

き込みながら、さらに議会活性化に取り組んで参ります。
また、今年から町民の身近な声を聴く機会として、議会報告会
に代わり意見交換会の開催を計画しております。
今後とも、議員一同、町民の皆様にとって身近な議会として活
動するとともに、より多くの意見を町長に提案できるよう努力
して参りたいと存じます。
この新しい年が町民の皆様にとって実り多い年になりますこ
とをご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

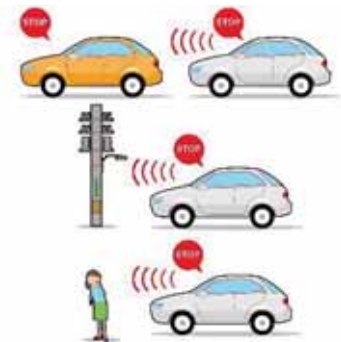
12月定例会報告（会期12月3日～17日）

一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6700万166千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ108億7500万549千円とするものであった。

主な歳出（取組み事業）

- 高齢運転者の交通事故防止対策補助金（追加）
自動ブレーキやペダル踏み間違い時の加速抑制装置などを搭載した車両を購入または取り付けた、65歳以上の住民に最大5万円を補助。
- アフリカ豚コレラ等の感染防止対策補助金
- 十文字交差点付近の舗装補修工事
- 成法寺町営住宅の解体撤去工事（政策空家）



新たな条例を可決

新富町自然環境、景観等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例

公の施設の指定管理者の指定について

新富町文化会館の指定管理者に「株式会社宮崎舞研」の指定を議決しました。
指定期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

常任委員会・特別委員会報告



基地対策特別委員会（行政調査報告）

10月7日～9日の日程で福岡県築上町、山口県岩国市、防府市へ訪問。築上町は航空自衛隊築城基地を抱える町で比較的わが町との共通点は多い。次に岩国市は米軍岩国基地を抱える自治体である。米軍基地内にも案内され、貴重な体験と意見交換を行った。最後に防府市は飛行教育を行う防府北基地がある。新田原基地のような戦闘機が飛行することとはなく、練習機T-7型での飛行訓練が行われている基地なので、騒音問題もほぼないとのことであったが、今後も基地を抱える自治体として情報を共有し、新富町の基地対策に活かしたい。

文教厚生常任委員会（行政調査報告）
10月16日～18日の日程で福岡県大木町、福岡県久山町、大分県臼杵市へ訪問。大木町では「おおき循環センター」を建設し、生ゴミを再資源化するバイオマスプラントとして「循環のまちづくり」を目指し実践している。また久山町では特定健診受診率が高く、「ひさやま方式」と呼ばれるシステムを勉強してきた。最後に臼杵市では国民健康保険の現状と介護予防事業の取り組みなどの説明を受け、意見交換を行った。これらの視察内容が新富町でどれだけ参考になるかまた実践できるか今後研究していく。



令和元年度 12 月定例会 議案等の審議結果

議案番号	件名	結果	
64 号	令和元年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
65 号	令和元年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	全員
66 号	令和元年度新富町介護保険特別会計補正予算	可決	全員
67 号	令和元年度新富町土地取得特別会計補正予算	可決	全員
68 号	令和元年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計補正予算	可決	全員
69 号	新富町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	可決	多数
70 号	新富町景観条例	可決	全員
71 号	新富町自然環境、景観等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例	可決	全員
72 号	成年被後見人等の権利の制限に係る処置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する条例	可決	全員
73 号	新富町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
74 号	新富町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
75 号	新富町都市計画審議会条例の一部を改正する条例	可決	全員
76 号	新富町水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	全員
77 号	新富町福祉施設共同作業所設置条例を廃止する条例	可決	全員
78 号	公の施設の指定管理者の指定について（新富町文化会館）	可決	多数
請願 2 号	介護保険利用料原則 2 割負担化、ケアプラン有料化などの制度見直しの中止、介護従事者の処遇改善など、介護保険制度の改善を求める請願	採択	多数

臨時議会(11 月 25 日) 議案等の審議結果

議案番号	件名	結果	
58 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
59 号	町長、副町長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
60 号	新富町議会議員の議員報酬及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	多数
61 号	令和元年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
62 号	令和元年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員
63 号	令和元年度新富町介護保険特別会計補正予算	可決	全員

現在の町政に議員が問う！一般質問

電子母子手帳導入で子育て支援を

町長 システムの構築を進めていく



松浦美緒 議員

問 電子母子手帳について。

答 マイナバーカードを活用し、乳幼児健診の履歴管理や子育て支援情報などを受け取ることができるシステムの構築を進めていく。

問 避難場所としての観音山公園整備は。

答 東日本大震災をふまえ「津波避難場所」と位置付けしている。津波避難時を想定し、夜間時の外灯の設置、両サイドの手摺設置等、今後調査検討を行う。



防災意識を高めよう

問 マイタイムラインの普及と逃げキッド導入は。

答 必要性については十分理解している。町民の皆さんに分かりやすい実用性があるものを検討していく。

問 小中学校における防災意識向上のために防災備蓄品の枕作りと「ぼうさい甲子園」の取り組みはできないか。

答 生徒会活動やボランティア活動そして家庭や地域での取り組みとして検討していく。

問 発達障害の理解・周知・啓発のパンフレットを全戸配布できないか。

答 お知らせ版等に掲載を行い啓発に努めていきたい。パンフレット配布に関しては検討していく。



発達障害とは？

問 発達障害の理解周知のために講演会を開催してはどうか。

答 講演会活動は行っているが更なる理解周知の為に啓発活動に努めていく。

問 60代以上の孫育て世代への発達障害に対する理解周知として認知症サポート講座の様な講座を開いてはどうか。

答 高齢世代においても、まだ理解が浅く偏見もみられるので普及啓発のために何が必要か前向きに検討していく。

問 5歳児検診導入について。

答 切れ目のない子育て支援は大変重要と考えており、5歳児検診の重要性も理解している。検診内容、専門職の確保や受け皿支援体制の構築等も含んだ検討が必要である。



「LGBT」ってなんだろう？

問 LGBT等の性的少数者の理解を深めるための職員、町民向けの基礎学習会開催について。

答 平成30年に職員に対しては希望者対象に30名程度研修をおこなった。町民に対しての基礎学習会は開催していないので調査研究していく。

現在の町政に議員が問う！一般質問

新田多目的広場の設置は

町長 利便性を優先に早期実現を目指す



大木俊二 議員

問 場所の選定については。
答 現在新田においては、様々な計画が同時進行している状況である。大和地区基盤整備事業、新田西地区基盤整備事業、猿ヶ瀬川改修工事に伴う新田支所の移転や、成法寺住宅の用途廃止などを行っているので複合的に検討し進めていく。

問 新田多目的広場について、町長は一期目には実現すると言われていたが大丈夫か。
答 新田における広場の整備は、私の公約の一つであり、市民の健康増進やスポーツの振興、地域コミュニティの場及び地域活性化の拠点として最も重要な施設であると考えている。利用者の利便性等を最優先に考え、計画を進めていく。地区民が集える広場の整備がなるべく早期に実現できるように取り組んでいきたい。



新田地区に憩いの場を

問 ふるさと納税の目標に

対しての進捗状況は。

答 11月現在、3億8059万1千円の寄付額となっており、平成29年度と同等の進捗状況となっている。目標の10億円に向けて努力している。



徹底した管理体制を望む

問 美郷町では牛肉に関してのクレームがあったが、新富町は大丈夫だったか。

答 牛肉の返礼品を受け取った方には全て確認をとり、その中で脂身が多かったと思われる方には代替品を送り対応

した。

問 テゲバジャーロ宮崎の観客動員2,000人に向けて新富町としては、どのような支援策を考えているのか。

答 テゲバジャーロ宮崎の観客動員平均2,000人達成に向けた支援を町としても積極的に行っていく。チームや同じホームタウン自治体である宮崎市をはじめ、県や周辺市町村、県サッカー協会とも連携できるよう今後検討していく。また機運醸成のためにメディアを活用する事や「おらが町のチーム」として町民、県民の皆さんに親しみを持ってもらえるような取り組みを実施していく。



町民一丸となって応援しよう！

現在の町政に議員が問う！一般質問

横江川周辺の大雨対策は

町長 建設課と連携して県へ要望していく



出口喜重郎 議員

問 横江川からの導水路とポンプ場の機能は、土砂の堆積により十分機能を発揮していない。流域周辺の舗装道路、住宅

が増加しており、年々、川に流れ込む水量は増加している。その対策として、早急な導水路の土砂の撤去とポンプの機能アップが必要ではないか。

答 横江川排水機場の受益他の干拓地域には、近年の大雨時、横江川の右岸側の農地が冠水している状況を確認している。本年の5月から8月にかけて



大雨対策は万全か（横江排水機場）

の大雨時期に、横江排水機場の導水路を確認したところ、干潮時に土砂が現れる状況も確認した。土砂浚渫については、平成30年度に大和排水路本年度は柳瀬地区の調整池および栗野田排水路を実施している。当該導水路も含め計画的に行っていきたい。また横江川等についても、県へ要望していく。

問 ひと昔前は70ミリの雨で大雨と言っていたようだが、現在は短時間に100ミリ以上の雨が降っている。以前の常識を考え直さなくてはならない。100ミリ以上の大雨が降った場合、横江川周辺の地区は、床下床上浸水の被害が出るのが十分予想されるが、その対策はどう考えているか。

答 横江川周辺については、これまで上流域の降雨により、内水による水田の浸水が発生している。洪水時の水害対策を含む全ての自然災害における防災対策については、地域防災計画に沿って対応することになる。今後の大規模自然災害に備え「国土強靱化計画」を策定し、いかなる自然災害が起こっても機能不全に陥ることがないよう、ハード、ソフトの取り組みを効果的に組み合わせ、バランスのある防災、減災の対策を進めていく。



来たる災害に備え避難先の確認を

問 今後30年以内に国は南海トラフ地震発生の可能性が高いと発表しているが、各地区の集会所の耐震性はどの程度か。

答 地区集会所は、国が定める建築基準法の耐震基準に基づき設計されている。建築物が保有すべき最低基準として震度5強程度ではほとんど損壊せず、震度6強から7に至る程度に対して部分的な損傷が生じて最終的に崩壊から人命の保護を図るものと定められている。よって本町に所在する集会所は十分な耐震性を備えているものと考えられる。

現在の町政に議員が問う！一般質問

健康無関心層の心を動かすには

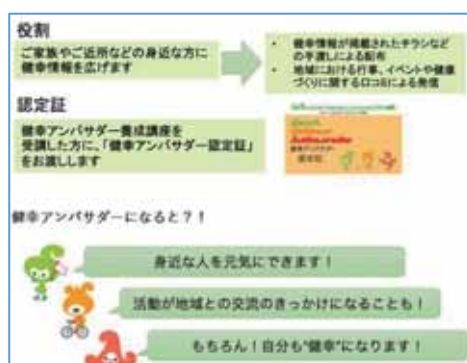
町長 健幸アンバサダー養成を検討



下村 豊 議員

問 国保制度の存続は、病気に
ならない人を増やすことが大
切。国民の7割が健康無関心
層、この無関心層の心を口こ
みで動かす「健幸アンバサダ
ー」の養成と健幸なまちづく
りを目指すSWC（スマー
ト・ウエルネス・シティ）首
長研究会への加入は。

答 健幸アンバサダーの養成と
首長研究会加入への検討を進
め、健康無関心層を含めた予
防・健康づくりの推進と環境
整備に取り組みたい。



「健康情報」を口こみで伝える

問 テゲバジャ－ロ宮崎のスタ
ジアム完成イベントと観客動
員の支援策は。

答 スタジアム完成は、絶好の
PR機会でありテゲバジャ－
ロ宮崎と協議し積極的に取り
組む。集客努力は第一にはチ
ームであるが、町としても積
極的に支援する。チームや宮
崎市、県や周辺自治体、県サ
ッカー協会とも連携できるよ
う今後検討していく。



要支援者名簿の活用は困難？

問 災害対策基本法で定める避
難行動要支援者名簿の作成、
難行動要支援者名簿の作成、
名簿の提供と支援者はどうす
るか。

答 7月1日現在で名簿は作成
しているが、名簿提供の同意
確認、個別計画は今後早急に
整備していく。支援者の二次
災害や支援に行けなかった場
合等の問題があり、支援者の
指定は難しい。

問 エコクリーンプラザみやざ
きの懸案事項は。ごみ処理の
現状と将来的な取り組みは。

答 14年が経過し施設の長寿
命化による大規模改修費用の
負担が課題となる。過去5年
間のごみの総排出量は2万5
千142トン、処理経費は4
億8千百万円。ごみの減量、
リサイクルの推進は重要課題
であり今後調査研究していく。

問 通学路選定は歩車分離が原
則である。歩道がない町道が
通学路になっている部分があ
るので改善できないか。

答 関係機関と協議・研究して
いく。



歩道のない町道通学路

現在の町政に議員が問う！一般質問

国保税の均等割の減免実施を

町長 来年度からの実施に向け準備



吉田貴行 議員

問 米軍の新田原基地の緊急時使用に伴う施設整備について
 ①緊急時とはどのような事態で誰が判断するのか。また、米軍の弾薬の種類について、国から明確な説明があったのか。
 無いのであれば、町民の安心・安全は守れないので、米軍弾薬庫の建設には反対するよう強く求める。
 ②米軍弾薬庫建設の法的な根拠は安保条約と日米合同委員会というのが国の説明だが、全国で初めてのことで、弾薬庫建設の国内法の根拠はどうなっているのか。

答 ①町として、国の責任で、安心安全対策等を行い、負担を受ける自治体に対する丁寧な対応と住民に対する十分な説明を行うよう申し入れを行った。
 ②法の整備は遅れていると認識している。



進まない地上騒音対策

問 米軍の施設のためには200億円を超える税金を使うのに、地上騒音対策は進まない。政治生命をかけるとは言わないが、それぐらいの決意で取り組んでほしい。
答 今年度中に何らかの対策をするよう強く要望している。

問 国民健康保険制度について
 ①国保税の均等割の減免の実施について。

②国保税と医療費の窓口負担の減免制度の拡充について。

答 ①来年度から、15歳以下の均等割減免の実施に向けて、整備を進めているところである。

②減免の拡充は、慎重に対応していく。また、制度の内容は引き続き広報周知していく。

問 重度心身障がい者医療費助成制度について、通院の現物給付の実施と所得制限の見直しについて伺う。

答 通院の現物給付については、現在、検討しているところである。所得制限については見直しの検討が必要であると考えている。

問 社会福祉協議会の役割と職員の処遇改善についてどう考えているか。

答 地域福祉活動や在宅福祉サービスとの展開を行って頂きたいと考えている。また、処遇改善は町として取り組めることは、積極的に検討していく。

問 町営住宅の問題について
 ①桜木住宅内の道路の抜本的改善について。
 ②入居時の保証人を廃止する見直しについて。

答 ①来年度に実施するよう検討していく。
 ②見直しに向けて検討しているところである。



町営桜木住宅

現在の町政に議員が問う！一般質問

町道、里道の今後の維持管理に不安

町長

今後考えていかなければならない問題



図師孝一 議員

問 生活道路整備に関しては、一割負担と材料支給で現在運営管理されているが、今後地区住民の高齢化に伴い活動が難しくなることが予想される。今後見直さなければならぬと思うが、町長の考えは。

答 今後、住民の高齢化に伴い考えていかなければならない問題であり、しっかり検討していく。



一ツ瀬川決壊の恐れは

問 先の台風19号では、関東地方に甚大な被害を出しており、町民も改めて「一ツ瀬川水系は大丈夫か」と関心が高まったと思われる。特に一ツ瀬川の堤防については、西都市周辺の決壊により下流にある柳瀬地区の被害が予想されるが、どう考えているのか。

答 一ツ瀬川の西都市地区の堤防決壊については、協議会で綿密に連携しており、今後也十分検討していく。

問 町長就任一年経過後の自己評価について、ご自身の評価を伺いたい。

答 現在、政策実現の途上であり、今後も町民の皆様の期待にしっかり応えることができれば、その実現に向けた着実な行政運営に取り組んでまいりたい。



移設中の古民家

問 上新田小学校跡地の活用について。

答 敷地内の一部については、一般社団法人古民家再生協会宮崎と連携協定を結び、連携事業の一つとして、古民家の移設復元を行うことになった。この古民家が地域活性化の拠点になることを願っている。なお令和2年度中には跡地の全体の利用計画をお示しいたと考えている。



新富町独自の観光事業を

問 新田原基地との関係では騒音等、いろいろな問題があるが、基地の有効活用として新富町独自の観光利用をしてはどうか。例えば親子の絆を高めるために土日祭日に基地の中を観光バスで見学できるなど、防衛省に地元だけに特別な配慮をしてもらう。運営は町内循環バス会社を退役自衛官の新富町在住者をお願いする。土日祭日にするところに町独自の特権があると思う。近年親子の絆が薄くなり様々な事件が起きており、単なる観光事業ではなく親子の絆をより一層深めるためにぜひ検討していただきたい。

答 今後、観光事業を見直し検討していきたい。

現在の町政に議員が問う！一般質問

防音工事待機世帯解消について

町長

待機世帯解消にはまだ数年かかる



議員 久兼斐 揖

問 待機世帯解消と並行してコンタ見直しについて協議を進めなくてはいけないが、周辺協議会などではどのように話し合われているのか。

答 周辺協議会では、国がコンタの見直しをされないと、告示後住宅防音工事が進捗していかない、というふうな地域の事情を説明している。

問 町の防災訓練の目的とその目的は達成できたか。

答 町を上げて訓練することにより、町民一人一人の防災に対する意識の向上と避難要領の確認を目的としたが、天候不良のため町民の方の避難訓練はできなかったが、職員の行動や他の機関との連携要領など一定の成果があった。反省点は、訓練会場が室内となり、また住民の参加が少なく、

訓練が制限されたこと。

問 防災当初の消防団員が身を守るための行動基準は、どの様に団員に徹底するのか。

答 各種災害毎の基準を明確化し、地域の実情に応じた各種訓練を通じて徹底していく。

問 自助の重要性を町民に理解してもらうための方策は。

答 防災講話などを通して理解してもらうよう地道に活動をしていく。



消防団員も自身を守る行動を

問 各産業に対する補助金制度はどのような制度があるか。

答 農業関連事業は、後継者等

就農支援交付金や家畜導入資金貸付などの町独自の制度、米政策と経営所得安定対策、

認定農業者・新規就農者及び農業後継者対策、園芸特産支援対策、畜産支援対策等の農業全般への各種助成、補助事業がある。商工業では中小企業者、小規模企業者の経営改善等に取り組むための補助金制度、信用保証料の補助、中小企業退職金共済制度加入促進の補助等があり、それぞれ成果を上げている。

問 6月に始まったU-Jターンの補助はどのようなものか。

答 県外から新富町内に移住し就業または起業しようとするものに対し就業の場合、世帯で100万円、単身で60万円、起業の場合、世帯で最大300万円、単身で260万円の補助がある。

問 各制度のPRに努めていた

だきたい。

答 広報を積極的に行う。

現在の町政に議員が問う！一般質問

スマートーの設置に向けたまちづくりは

町長

地域活性化に期待、早期実現に努める



吉田憲市 議員

問 スマートインターチェンジ設置に向けたまちづくりについて。

答 新富スマートインターチェンジ（仮称）は令和元年9月27日に国の準備段階調査箇所決定された。周辺地域の利便性向上や、地域経済の活性化が期待される。安全安心を確保したうえで、今後早期事業化に向けて準備会等を重ねて参りたい。

問 上新田小学校跡地の活用について。

答 上新田小学校跡地活用については、令和2年度中には、跡地全体の利用計画を示したい。将来的に地域活性化の拠点となるようにしていきたい。



解体中の旧上新田小学校校舎

問 旧追分分校の活用について。
答 活用方法について検討中である。

問 想定外の災害が発生しているが、本町としての対応策は。

答 災害発生前の災害予防応急対応復旧等が盛り込まれている地域防災計画の見直し、国土強靱化地域計画を作成中である。

問 人材育成並びに事務組織の見直しについて。

答 「能力開発」「職場環境」「人事管理」の3つの要素が重要であり、特に「能力開発」については、自己啓発、職場研修、職場外研修、独自研修等を実施している。現在来年度の職場外研修として、県や公益的法人等だけでなく、国や民間企業等への派遣を検討している。行政組織体制については、「町民サービスの向上」「簡素で効率的な組織」、新たな行政課題に対応できる組織を基本に、現在の15課2局1支所の体制となっている。



町制 60 周年記念式典の様子

問 町制 60 周年記念式典の招待者及び表彰者の選定基準について。

答 記念式典の招待者については、町政に深い方々を招待し、表彰者については、表彰基準に基づき各課部門で検討し選定している。しかしながら、抽出ミスが発生し、役職がなく地域において長く活動された人などが該当しないなどがあった。今後は、地域に目を向け、気配り、目配りをしながら対応して参りたい。

現在の町政に議員が問う！一般質問

ペーパーレス化に向けたタブレット端末の導入は

町長

業務効率化の観点から導入を検討



石崎俊二 議員

問 議案のペーパーレス化に向け、タブレット端末導入の考えはないか。

答 議案のタブレット端末導入に伴うペーパーレス化については、議案の送付等の電送化や過去の資料の検索が容易になるなど、業務効率化の観点から導入を検討しているところである。導入した場合には、各議員への議案等は紙媒体ではなくタブレット端末によるデータの受け渡しになるので、端末機器操作の習得をはじめ、セキュリティ対策の徹底等を

お願いすることになる。意見を集約していただき、タブレット端末導入に伴うペーパーレス化の検討を進めていければと考えている。



業務の効率化に期待

問 町長の公約にある「町内無料WiFi化」に向けた取り組みは。

答 ICT活用の実証実験等も行っている。その中で無料で使える範囲と、どうしても費用が発生してしまう範囲があるので、そのあたりも精査しながら、少しでも町内で無料WiFiが使えるように環境構築を目指していきたい。



町の情報を伝える IP 告知端末

問 ケーブルテレビエリア拡大に伴う、IP告知放送端末設置状況への影響と今後の対策について。

答 IP告知放送端末の設置状況については、平成30年度末の設置台数が5,427台、令和元年度10月末現在が5,325台で、差引102台の減となっている。今後の対策としては、今後導入を予定している防災ラジオをはじめ、多様なメディアを組み合わせたものによる情報発信を行い、各世代のライフスタイルに合った適切な情報伝達手段を整備していく。



問 多子世帯学校給食助成金について。

答 この助成金は、町立小中学校に3人以上在籍している子どもに3人以上の保護者に対して、3人目以降の児童生徒の給食費を助成する事業で、今年度から実施している。

問 給付の方法と状況は。

答 給付の方法は、教育委員会で対象世帯を把握し、申請手続きについて対象保護者に通知を行う。申請後「新富町多子世帯学校給食費助成金交付要綱」に基づき、保護者の指定口座に助成金を振込むといった流れになる。給付の状況については、71世帯の保護者から申請があり、一学期分の給食費助成として、128万600円を支給している。なお給付時期は、各学期終了後で、年3回としている。

現在の町政に議員が問う！一般質問

新田地区に「コンビニ」や「公園」を

町長

実現できるように取り組んでいく



阿萬誠郎 議員

問 猿ヶ瀬川河川改修に伴い、移転する新田支所、公民館は、新田地区の地域コミュニティづくり、住民相互の交流に格好の場所であり、魅力あふれる施設でなければならぬ。移転建設を機に公園等、遊び場や「コンビニエンスストア」の可能性は。

答 可能性を高めるよう検討している。今年度から数年かけて新田地区は大きく変わろうとしている。大和、新田西地区の基盤整備。河川改修に伴う公共施設の移転建設。不可

能と思われた成法寺住宅の用途廃止に向け、全入居者の移転契約が今年度中に完了予定。そうした状況の中で、より新田の皆さまが集える施設環境の創出と活性化に努める。質問の「コンビニエンスストア」は既に大手コンビニと交渉をしてきた。経緯については、「新田で店舗展開をするのは困難である。」との回答を得ている条件下ではある。そこで、新たに「地域型コンビニ」と命名し現在、プランを検討しているが、お願いしたい事は、このプランが新田の地域活性化に寄与し、発展するためには地域のことは地域が守る「意識と気運」を高め、利用を促していただきたい。大変厳しい案件だが実現できるよう取り組んでいく。



「地域型コンビニ」は実現するか

問 消火活動の基本は「人、車、水利」である。特に夜間火災の消火活動において、街路灯が少ない郊外は消火栓を見つけない。団員の負担軽減や迅速な初期消火ができるよう消防水利施設に赤色点滅灯（LED）の設置を提案したい。

答 良い提案であるが、費用面と耐久性、効果について検討していく。

問 使用できない旧防災戸別無線機の回収方法と対策は。

答 現在、検討中の防災ラジオ事業で対応していきたい。



子どもたちを守るために

問 子ども達を守るために、薄暗く、人通りが少ない通学路などに防犯カメラの設置をしてはどうか。

答 IPV6（通信規格の種類）網による屋外カメラ等の実証実験を行っております。活用方法については費用など考慮し、検討していきたい。

特集「スマートインターチェンジ」

まずは・・・

令和元年9月27日、**新富スマートインターチェンジ（仮称）**が準備段階調査の実施箇所として決定されました。今後、高速道路の有効利用や地域経済の活性化等の効果が期待されます。



国富スマート IC 入口



門川南スマート IC 入口

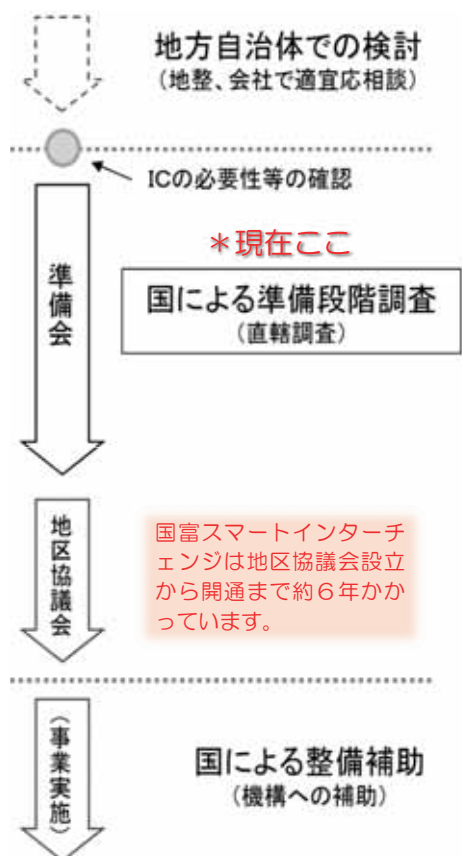
スマートインターチェンジって？

スマートインターチェンジ（スマート IC）は、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジ（IC）であり、通行可能な車両（料金の支払い方法）を、ETC を搭載した車両に限定している IC です。利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、従来の IC に比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。

準備段階調査とは？

スマート IC の準備段階（地方での計画検討・調整段階）において、国として必要性が確認できる箇所等について、国が調査を実施する「準備段階調査」を実施します。これにより、スマート IC の地方での計画的かつ効率的な準備検討の推進を図ることとしています。

これからのスケジュールは？



【町長コメント】スマートインターチェンジの事業化に向け、大きく前進できたものと考えており、大変うれしく思います。東九州自動車道は、本県の企業誘致や産業振興、救急医療や災害時の代替路など、重要な役割を果たしており、本町の発展にも大変寄与しております。今回の決定は、更なる高速道路の利用増加と、「農業のまち新富町」のより一層の販路拡大が可能となるとともに、日本遺産の新田原古墳群やサッカースタジアム等への観光資源活用にも繋がるものと期待しております。（新富町ホームページより）

【議会では】スマートインターチェンジ設置に伴う周辺整備に関して、各議員が一般質問で意見し、答弁を求めました。特に上新田小学校跡地利用や地域活性化の期待に言及。市民の皆様の関心も高く、たくさんのご意見もいただいております。一時退出可能な「ETC2.0」導入も見据え、新富町の可能性を探りながら、議会としても様々な提案をしていきます。



出典：国土交通省ホームページ
(<https://www.mlit.go.jp/index.html>)

町民インタビュー

聞かせて！あなたの未来



酪農家 本部博久さん

**新富町議会のここに
期待しています！**

「新富町民が安心して暮らせる、町づくりをしてほしい！議員の皆さん、よろしくお願いします！」本部より



バイオマスプラント

インタビュー

酪農家の長男として生まれた本部さん。上新田小学校、中学校を経て妻高校へ進学。高校卒業後は農業大学校畜産科にて酪農のノウハウを学び、酪農家の三代目として家業を継ぐ。現在は300頭余りの乳牛を飼育されている。

昨年、規模拡大のためのオートメーション化の牛舎を建設され、牛へのストレス軽減と労働力軽減のために搾乳ロボットも導入された。

また、糞尿処理を円滑に行えるよう糞尿を利用した**循環型バイオマス発電**を取り入れることを決断。現在、県内初の施設を建設中。

発電・売電を行い、地球・地域にやさしい安心安全の地域循環型酪農を目指されている。

町内の子どもたちに給食の牛乳を提供したい！と、若い酪農家たちと夢を語っている。

バイオマス発電とは

動植物等から生まれた生物資源の総称。この生物資源を**直接燃焼**したり**ガス化**するなどして発電、消化液はアルカリ性で土壌改良に利用可能。

富田小学校6年1組の皆さんが議会傍聴に訪れました（なお2組、3組は議会の模擬体験しました）

傍聴アンケートより

- ・ 議会で、町のいろんなことが決まるのだなあと改めて感心しました。
- ・ 厳粛な雰囲気でも新富町の未来を良くするために頑張っていることが分かった。
- ・ 初めて見て、話の内容があまり分からなかったけど、どんなものかが知れて良かった。
- ・ ぼくが思っていた以上に静かでびっくりした。



編集後記

明けましておめでとうございます。12月議会では師走の忙しい中、傍聴にお越しいただきありがとうございました。

十二支の始まりねずみ年。

「ねずみ」は成長が早く、多産なので「子」の文字通り子孫繁栄を象徴。子育てしやすい町を目指して、令和二年、私たち議員も更なる自己研鑽に努めて参ります。

さて、2020年は歴史に残る東京オリンピック、パラリンピック開催で日本中が盛り上がりつつあります。新富の食材等の様々な魅力を積極的に発信する追い風をしっかりと捉えて、議員活動に取り組みで参ります。

議会広報特別委員会

委員長

石崎 俊二

副委員長

小山 早苗

委員

松浦 美緒

出口喜重郎

大木 俊二

吉田 憲市

連絡先 議会事務局

☎ (33) 6139